

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第 29 号

発行日：平成三年八月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28-9002

》》 写真コンテストを実施 《《

「にしなりのまつり」をテーマに募集

西成連区地域づくり協議会では、地域振興事業の一環として、西成連区内で実施される、まつりの写真コンテストを実施することになりました。

今年のテーマは、瀬部の「臼台まつり」と浅野水法の「芝馬祭」です。応募規定を掲載しますで、ふるって応募してください

応募規定は次ぎの通りですが、詳しくは、募集要項を西成支所内の事務所（電話：28-9002）にご請求、またはHPをご覧ください。

■瀬部の「臼台まつり」と浅野水法の「芝馬祭」の実施

瀬部の「臼台まつり」 8月16日（月）午後7時～瀬部観音寺・八剣社境内
浅野水法の「芝馬祭」 9月 8日（水）午後1時～浅野水法・白山社

■応募規定

①課題＝「臼台まつり」「芝馬祭」②応募資格＝自由③サイズ＝カラープリントA4（210mm×297mm）、日付入りは不可、合成・加工・組写真は不可。裏面に応募票（タイトル、住所、氏名などを記載する）④提出先＝一宮市小赤見字郷浦53（一宮市西成出張所内）「西成連区地域づくり協議会」⑤締め切り＝平成22年9月30日（木）必着⑥著作権＝入賞作品の著作権は主催者に帰属。入賞は1人1賞。応募作品は返却しない⑦発表＝本誌11月号とHP上⑧賞＝（各祭ごと）最優秀賞1点、優秀賞3点、入賞5点（各賞とも賞状と副賞）

萩原連区でも設立経緯と現状を卓話 平成23年度に設立する萩原連区からの要請を受けて、7月15日、萩原公民館で、当西成連区地域づくり協議会の役員が、設立後の経緯や組織、事業の企画立案、展開方法や手段について卓話した。

■にしなり物語①■ 私たちの連区を、なぜ「西成」というの？

「にしなり」は、一宮市の中でも東方に位置しているのに、なぜ「西成」と言うのか？。不思議ですよ。独断と偏見を織り交ぜお答えします。

明治22（1889）年10月1日以降、瀬部村、時ノ島村、穂波村（西大海道村、下奈良村、定水寺村、下奈良西新田村）、赤羽村（大赤見村、柚木風村、小赤見村、丹羽村）、浅淵村（北小淵村、南小淵村）と呼ばれていたようです。これが明治39（1906）年7月5日、合併により西成村となりました。翌40（1907）年1月1日に丹陽村より馬見塚を分離し、西成村に合併しました。その後、昭和15（1940）年9月20日に一宮市に合併し現在に至ります。

西成村ができたのは、明治39（1906）年7月5日で、34年間続きました。それまでは、丹羽郡の西の端の肥沃な地にあった（位置していた）ことに由来しているようです。

丹羽郡西成村、一宮市の西成連区など、「西成」と呼ばれて百年余にもなります。先人の思いをはせ、郷土の成り立ちや伝統文化を大切にしたいものです。

HPをご覧ください。「にしなり」（ひらがな）で検索！ <http://www.138nr.com>